

長畑ひろのり



News vol. 171

12月定例議会における質問③

・四條畷市民憲章の周知啓発と

575の活用について

・学校給食について

【長畑質問】令和4年度四條畷市一般会計補正予算に、学校給食配送車購入に係る経費が載っていたが、詳細は。

【教育部長答弁】学校給食配送車4台の購入を計上しており、1台あたりの価格は、税抜きで770万円。

【長畑質問】先の補正予算の質疑の中で、部長が「あくまでも安定した給食の提供を考えた」と再三述べていた。私もその考えと同じ。

私も令和3年9月定例議会で、配送トラックの改装を見込んだ入札時期見直しの要望や、仕様書に書かれていた「天然ガス、ハイブリット等」についても問題はなかったのか、そんなやりとりをした。その点から考えても、今回の学校給食配送車購入がそれらを払拭するものであればと願う。

今年度から公会計にして半年以上経過した。そこで、私会計の時と比べた、メリットとデメリットは。

【教育部長答弁】メリットは、学校給食費の納付方法が多様化する等、保護者の利便性が向上した、教職員による集金や督促等の業務負担が軽減した他、学校給食が安定的に実施できることなどが挙げられる。

デメリットは、各校の業務が学校給食センターに集約されたことにより、センターの事務が大幅に増加したこと等。

【長畑質問】納付方法の以前との比較、事務量増加の対策は。

【教育部長答弁】公会計導入前の納付方法は、特定の金融機関での口座振替及び学校への現金納付としていた。公会計導入後の納付方法は、市が取り扱う全ての金融機関での口座振替及び納付書による納付ができるようになった。

事務が大幅に増えたことへの対策は、公会計事務のシステムを導入したうえで、職員を増員し体制を整えている。

【長畑要望】私が何年にも亘り取り組んだことが、間違っていなかったのだと確信した。

時間はかかったが、子ども達へ安全で安心な給食の提供を構築することができたこと、そして、これからも安全で安心な給食の提供を常に心がけ、改善する点があれば直ぐに改善するなど時々の迅速な対応を要望する。

【長畑質問】市民憲章を普及させる方法は。

【市民生活部長答弁】令和2年度に「四條畷市民憲章啓発サポーター」として登録する制度を創設したところ。

【長畑質問】登録している団体数は。

【市民生活部長答弁】令和4年12月13日時点で、19団体。

【長畑質問】既に解散している「四條畷市民憲章推進協会」の73団体とは比べものにならない数字。新型コロナの影響を受け仕方ないとも考えるので、今後に期待する。

【長畑質問】ナンバープレートを575にした効果は。

【総合政策部長答弁】効果の有無については判断が難しい。

【長畑質問】市民憲章と575事業を繋げることで、相乗効果が出ると思う。そこで、俳句事業が消滅した経緯は。

【市民生活部長答弁】応募数を伸ばす一方で費用対効果、他の事業との優先順位などを総合的に判断し、令和元年度に廃止。

【長畑質問】知名度向上に関しては数値化しにくいので、費用対効果は考えなくて良いのでは。

コロナ禍、多くの事業を開催することすら許されなかったこの3年近く、この時期にこそ俳句事業をするべきだったと思う。ネットを使っての事業を考えた時、本市にとって一番適していたと言っても過言ではない。

俳句事業を、対外的には本市の知名度アップ、市民にはこの事業を使っての市民憲章の推進と、これまでと一新した考えのもとで再開する気持ちはないのか。

【市民生活部長答弁】総合的判断で廃止した。再開予定はない。

【長畑要望】市民憲章を多くの市民に広めるためにも、他の事業とタイアップで考えるなど、今以上に新しい手法を考え、て頂く事を要望する。

四條畷市民憲章

(昭和50年11月2日制定)

わたくしたち四條畷市民は
めぐまれた自然を生かし
美しいまちをつくります
ふるさとを愛し心のふれあいを求め
友情の輪をひろげます
希望と夢をもって
しあわせなまちをめざします
豊かな伝統と歴史をまもり
新しい文化をそだてます
働くことに誇りをもち力をあわせて
住みよいまちをきずきます



てはなうでし
暇 條 四
だしほ | きぎの

戦前の
四條驛駅名標
イメージ図

しでうなはて今昔④

今月号も所有する絵葉書を掲載します。今回は「和田賢秀の墓」です。絵葉書の作成された年代は、167号同様に宛名面からの推定としました。その内容を記した167号は、右のQRコードよりご確認ください。



・戦前の駅名表記

左のイメージ図「しでうなはて」の漢字が間違えているのでは、との指摘を受けましたので説明をします。

イメージ図は、四條驛市立歴史民俗資料館の作成した第37回特別展の冊子を参考にしました。その表紙の裏側に「戦前の四條驛駅名標 昭和13年ごろ 大阪府立四條驛高等学校提供」と注釈のある写真が掲載されており、それを元としています。

そして、漢字表記についてはウィキペディアより下記に引用しますが、当初は「條」が使われていました。

駅名は元は市名の表記と同様に「四條驛」であったが、のちに現在の常用漢字に当たる当用漢字を用いた「四条驛」に改められた。

ひろのり物語 ⑫

作: 長畑ひろのり

4才、肘の複雑骨折

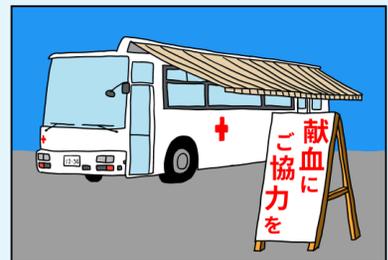


手術時、母から輸血

関節をボルトで仮固定



13針縫う



献血をしたくても輸血歴があれば断られます



和田賢秀之墓

絵葉書の年代は、左画像の絵葉書宛名面に通信欄が無いことから、明治33年(1900)2月～明治39年(1906)と推定。



右画像が、約120年経過した現在の状況です。道路が整備されバス停も設置される等、環境は大きく変わりました。



・手彩色絵葉書について

今回の絵葉書は今までと違い、手彩色絵葉書と言い、カラー写真ではありません。手彩色絵葉書については、ウィキペディアより下記に引用します。

18世紀から20世紀初期にかけて(日本では戦前において)、風景・人物・文化・その他事象の写真を撮り、これを白黒印刷したものに手作業(通常、家内制手工業)で彩色した上で絵葉書の形式に仕上げたものを言う。彩色は全て手作業であるため、厳密には全ての手彩色絵葉書は色が異なる。また、見た目にも一枚ごとに色が異なっている場合が多い。

和田賢秀の墓については、本市HPに詳しく書かれていますので全文を引用します。

南北朝時代の武将楠正行(くすのきまさつら)の家臣和田賢秀(わだけんしゅう)の墓所で、賢秀討ち死の地と伝えられています。賢秀は勇将として知られていました。正平三年(1348年)の四條驛の戦いの際、正行が討ち死した後も一人で敵将高師直(こうのもろなお)の首を討とうとしましたが果たせず、敵に首をはねられました。地元ではこの首が敵の喉に、あるいは鎧に噛みついて離れなかったと言われています。あるとき地元の人が歯痛で苦しんだ折にこの賢秀の墓所で祈願したところ治ったことから、賢秀は「歯神さん」と呼ばれて厚い信仰を受け今日に至っています。墓所には天保二年(1831年)につくられた位牌型の墓石が建立されています。